

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、
「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、
それが「ありば」です。

ありば

VOL. 50
2025



表紙 / 陽花 小野京子さんの作品

第71回県美展で、ハートフルの部・知事賞を受賞した小野京子さんの「陽花」。夏になると毎年ベランダでたくさんの花を咲かせるクレマチス。母の日に家族から贈られた大切な花を描きました。全体に配置された花は、花びらの細部まで丹念に色を塗り重ね、透けるような質感やみずみずしさが伝わってきます。鋏物や石を砕いた粉から絵の具を作るところから始まる、習い始めて7年目になるという日本画の技法を使っています。緻密に色を重ねていくことで少しずつ色が変化していく工程が楽しいと話す小野さん。この絵のタイトル「陽花」は、お孫さんの名前からとってきているそうで、次の目標は、三人のお孫さんの人物画を描くことだと話してくださいました。



CONTENTS

【特集】

東京2025デフリンピック
鹿児島での活動&選手を紹介 PAGE 1

ハードルを越えて
日高 有彩さん PAGE 5

ありばヒューマンドキュメント
上玉利 明子さん PAGE 3

バリアフリー最前線
JR帖佐駅・仙巖園駅

ヘルプマークの日普及啓発について PAGE 6

ありば通心
NPO法人くすのき自然館
「ユニバーサルビーチ」の取り組み PAGE 4

鹿児島県からのお知らせ
・農福連携
・アルコール関連問題啓発週間 PAGE 7



東京2025 デフリンピック

特集



デフリンピックとは？

デフリンピックとは、デフ(Deaf)+オリンピックのことです。デフとは、英語で「耳がきこえない」という意味で、「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」がデフリンピックです。

〈競技種目&会場〉21競技 *東京都以外の会場については(都道府県名)を記載しています。 日程は2025年7月29日現在

日程	競技種目	会場
11/17(月)~25(火)	陸上	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場
11/16(日)~21(金)、23(日)~25(火)	バドミントン	京王アリーナTOKYO
11/16(日)~25(火)	バスケットボール	大田区総合体育館
11/16(日)~23(日)	ビーチバレーボール	大森ふるさとの浜辺公園
11/17(月)~25(火)	ボウリング	東大和グランドボウル
11/17(月)~18(火)、20(木)、22(土)	自転車(ロード)	日本サイクルスポーツセンター *(静岡県)
11/24(月)~25(火)	自転車(マウンテンバイク)	
11/14(金)~25(火)	サッカー	Jヴィレッジ *(福島県)
11/18(火)~21(金)	ゴルフ	若洲ゴルフリンクス
11/16(日)~17(月)、19(水)、21(金)、23(日)、25(火)	ハンドボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内競技場
11/16(日)~18(火)	柔道	東京武道館
11/23(日)~25(火)	空手	
11/15(土)、16(日)、20(木)、21(金)、23(日)	オリエンテーリング	日比谷公園・日比谷エリア、伊豆大島(裏砂漠)
11/16(日)~25(火)	射撃	味の素ナショナルトレーニングセンター・イースト
11/20(木)~25(火)	水泳	東京アクアティクスセンター
11/18(火)~21(金)、23(日)、24(月)	卓球	東京体育館
11/22(土)~24(月)	テコンドー	中野区総合体育館
11/16(日)~25(火)	テニス	有明テニスの森
11/16(日)~20(木)、11/22(土)~25(火)	バレーボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
11/23(日)~24(月)	レスリング(フリースタイル)	府中市立総合体育館
11/21(金)~22(土)	レスリング(グレコローマン)	

かごしまでの活動報告



キャラバンカーの展示

大会紹介パネルやメダル展示も実施。多くの人々がデフリンピックの魅力に触れる機会となりました。



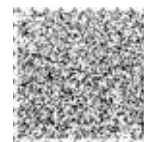
デフリンピック応援イベント inかごしま

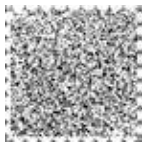
レプリカのメダルや関連漫画の展示、簡単な手話教室が行われにぎわいました。

鹿児島県聴覚障害者協会
事務局長

寿福さんが語る デフリンピックへの思い

デフリンピックをきっかけに、耳が聞こえない人への理解や手話が言語であることが広まり、健常者も手話で挨拶できる社会になればうれしいです。選手がベストを尽くし、けがなく競技を終えることを願っています。





デフリンピック出場選手紹介

なか お ゆう と
中尾 悠人 選手
デフサッカー

【選手プロフィール】

学生時代を鹿児島県で過ごす(尚志館高校)
現在は熊本県在住
デフリンピックは初出場

【見どころ】

選手同士の手話のやりとり
身長190cmを活かした空中戦やゴール前で体を張るディフェンス

【意気込み】

金メダル獲得を目指します！
応援よろしくをお願いします！



お づか あ い み
尾塚 愛実 選手
デフバレーボール

【選手プロフィール】

鹿児島県阿久根市在住
デフリンピックには2017年、2022年に続いて3回目の出場

【見どころ】

チームの連携プレー
目線や表情、手話で合図を送りあい、心をひとつにしてプレーします。

【意気込み】

チーム最年長として、どんな場面でも前向きに引っ張ります！金メダルを目指し、地元・鹿児島の応援を胸に全力で挑みます！



しま くら あ ん な
島倉 杏奈 選手
デフ陸上
女子4×400mリレー
男女混合4×400mリレー

【選手プロフィール】

神奈川県出身
鹿児島国際大学3年生
デフリンピックは初出場

【見どころ】

スタートランプ
音の代わりにランプの光に反応してスタートします。

【意気込み】

みんなの努力をつなげるように全力を尽くします！
皆さんの応援が私たちのパワーになるので、ぜひ会場にお越しください！



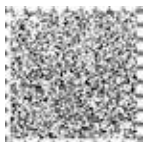
第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025出場選手を応援しよう！

大会は事前申し込みなく、無料で観戦が可能です。また、競技会場まで観戦に行けない方も、公式HPに競技動画が配信されます。

その他
観戦に関しての
詳細情報はこちら▶



※東京2025デフリンピック 大会公式HP





選手としてだけでなく、ヘッドコーチとしてもチームを導く上玉利さん。経験を生かし、楽しさを軸に鹿児島の車椅子バスケットを成長させている。



車椅子バスケット鹿児島県代表ヘッドコーチ
薩摩ぼっけもんヘッドコーチ

か み た ま り あ き こ

[上玉利 明子] さん

車椅子バスケットとの出会い

学生時代はバレーボール部に所属し、社会人になってからもバレーボール選手としてプレーしていた上玉利明子さん。現在は、鹿児島を拠点に活躍する車椅子バスケットボールの選手であり、ヘッドコーチを務め、プレーヤーとしても指導者としても、チームの中心として活躍しています。

上玉利さんの車椅子バスケットとの出会いは、大学時代。当時入部していたバレー部の顧問の先生から、障害者スポーツの研究をしている時に、「実際に体験してみてはどうか」と勧められ、車椅子バスケットのチームの練習を見学したのが始まりです。「選手がアグレッシブで、本当に楽しそうにプレーしていて、その姿に心を奪われました。」競技体験では車椅子の操作に戸惑いつつも、それ以上にプレーする楽しさが大きく夢中になったといいます。

当初、マネージャーとして車椅子バスケットに関わっていましたが、数年後、ルール改

定により、健常者でも大会プレーヤーとして出場できる環境になったことやバレー競技中の膝の怪我が契機となり、本格的に車椅子バスケットに打ち込むようになりました。その後、九州で唯一の車椅子バスケット女子チーム「九州ドルフィン」に加入。車椅子バスケットは、全国から強豪が集う「皇后杯」をはじめ、地域毎の大会も数多く開催されています。上玉利さんも多くの大会に出場しました。

*「皇后杯」…女子選手の車椅子バスケット全国大会

指導者としての活躍

九州ドルフィンでの選手引退後は、鹿児島の車椅子バスケットチーム「薩摩ぼっけもん」で選手兼ヘッドコーチとして活動するだけでなく、鹿児島県代表チームのヘッドコーチも務めています。

選手の指導で大切にしていることは、選手一人ひとりの自立です。指示を待つことが多かった選手たちも、問いかけを重ねることで、自ら考

え、意見を話すようになりました。「自分で答えを見つけれられるようになった姿を見られたことが、苦労でもあり、嬉しかったです。」と振り返ります。

現在は、県代表チームの「全国障害者スポーツ大会」出場、「薩摩ぼっけもん」の「天皇杯」への出場を目標に練習に励んでいます。「これまで車椅子バスケットで学んだ経験を県代表チームに還元したいと考えています。一人ひとりの力を引き出し、チームで戦う楽しさや達成感を感じてもらえるよう、日々の練習では声かけや関わり方にも気を配っています。」と思いを語ってくれました。

*「天皇杯」…クラブチーム日本一を決める車椅子バスケット全国大会



週に3回(月曜、木曜、土曜)、ハートピアがごしまで健常者車椅子バスケットチームと合同練習をしている。



自主練習の日は、自身の課題に向き合い、仲間と一緒にレベルアップを目指している。

鹿児島県車いすバスケットボール連盟

事務局長 吉田 昇司

TEL 080-5244-2477



諦めていたことを
実現させていくことの大切さ。

NPO法人くすの木自然館は、鹿児島島の豊かな自然を後世に引き継ぐことを目的に、人と自然の持続可能なつきあいなどの環境教育を推進している団体で、始良市にある「重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム」を受託運営しています。くすの木自然館では、障害のある人もない人も海を楽しみおための「ユニバーサルビーチ」という取り組みを行っており、その中心にいるのがくすの木自然館の石神愛梨さんです。

石神さんはユニバーサルビーチの活動推進のため各地を訪れる中で、電動モビリティの「ウィル」に出会いました。「ウィル」は、すべての人が利用できるもの“というコンセプトのもとに開発された、片手で移動操作ができる次世代型近距離移動手段です。石神さんは、「海岸を楽しめる方が増えるといいな」という思いから、2025年2月になぎさミュージアムでの貸出を始めました。

NPO法人 くすの木自然館



研修を受けたサポーターが準備から片付け、海の中のサポーターなどを行う



障害の違いや体の大きさなどに応じた、ビーチを楽しむ水陸両用の車椅子が用意されている



狭い道やごぼごぼ道などでも、安心して快適な乗り心地の「ウィル」



ユニバーサルビーチはスタッフの石神さんが中心になって担当



利用者の方の安全に配慮しながら笑顔で接するサポーター

「体の不自由な人だけでなく、誰もが移動手段として使用できます。重富海岸の松の木の下を通る、まっぼっくりロード」などをゆっくり散歩できますよ。」と石神さん。

この他、NPO法人くすの木自然館では、重富海岸で水陸両用の車椅子を使用した「誰もが海を楽しめるユニバーサルビーチの活動」を実施しています。2025年8月に行われたイベントでは、参加者は海に浮く車いすに乗り、10名ほどの研修を受けたサポーターとともにビーチへ。フロートやライフジャケットを着用して水に浮いたり、桜島をバックに写真を撮るなどして楽しみました。

石神さんは、「ユニバーサルビーチの活動は、これまで諦めていたことを実現する体験ができます。海に入るだけがゴールではありません。障害や年齢、病気があるために諦めていたことを、できたに変える体験と一緒に楽しみたいんです。」と話してくださいました。

現在、ユニバーサルビーチの活動は、重富海岸だけでなく、県内各地の海岸にも広がっています。

また、「施設をユニバーサルデザイン化する事にはお金や時間がかかりますが、受け入れる人たちの対応や考え方も変えることで、できることが増えるんです。」と話し、「キッチンカーなどが出店するユニバーサルデザインを取り入れたマルシェを開催するなど、今まで以上に重富海岸を障害の有無を問わず、誰もが楽しめる場所にしていきたいです。」と今後の展望を話してくださいました。

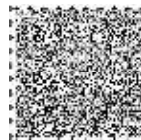
ウィルの貸出しやイベントについての
お問い合わせはこちらへ

NPO法人 くすの木自然館

〒899-5652 始良市平松7703

TEL: 0995-67-6042 FAX: 0995-57-7337

くすの木自然館 検索



リレーエッセイ

ハードルを越えて

ひ だか あ り さ
日高 有彩さん
(鹿児島市)

46

私は昨年11月に開催された第44回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の写真撮影部門において厚生労働大臣賞にあたる金賞を受賞することができました。

初めてカメラを手にとったのは、職業訓練校の社会研修でかごしま水族館に行つて、先生から借りたときでした。その時に撮った私の写真をみたスクールカウンセラーの先生が「よく撮れている」とおっしゃってくださいました。それまでは携帯で写真を撮るのは好きでしたが、カメラを持つどころか、使ったこともなかったです。水族館で初めてレンズ越しの世界を覗いてみると、普段みている景色とはまた違うキラキラした情景が写っていて、なんだか嬉しく感じました。現像した写真はとても気に入っていて、今でも玄関に飾っています。

アビリンピックに参加することになったのは、当時の担任の先生がすすめてくれたからです。（一昨年参加した）1度目の県大会は銀賞、（昨年参加した）2度目の県大会は金賞を受賞することができました。県大会では、制限時間内に撮影した写真の中から3枚を提出しました。1枚目は、清掃員がビルの窓を磨いている様子。2枚目は、清掃員が掃除機などで床を掃除している様子。3枚目は、アビリンピックのキャラクターと、そのキャラクターを撮影しようとしている人たちです。銀賞を受賞したとき、審査員の方から”人物は頭からつま先まで撮るといい”とアドバイスを受け、意識して取り組んだ結果、翌年に金賞を受賞することができ、1度目の悔しさを晴らすことができました。

昨年の全国大会では、提出する写真が5枚に増え、慣れている選手も多くいる中、時間内に終わらせなければと焦りを感じました。その年の大会から競技で使用するカメラの持ち込みが許可されたので、私は愛用しているニコンの一眼レフカメラを持ち込み、撮影しました。中古で買った少し前の機種ですが、状態もよく、大会のために望遠レンズを準備して臨みました。撮影・編集・印刷と1日がかりの作業で体力も気力も消耗しましたが、いい結果を残すことができました。悔いのない写真が撮れて嬉しかったことと、大会後の選手交流会で色々な話ができたと印象に残っています。他県の選手の方たちは、競技中の真剣な様子から一変、明るくノリのいい人たちがばかりで、写真を上手く撮るコツについて意見交換ができました。

今の目標は2027年にフィンランドで行われる世界大会に出場することです。そのために、一番心がけていることは、絵画のような写真を撮ることです。大会で審査員の方から、絵画に似た細かい描写ができていると評価されたことがきっかけです。これから絵画展などを訪れて、さらに研究したいと考えています。まずは、今年10月に行われる全国大会で、昨年に引き続きいい結果が残せるように準備を進めていきたいです。応援よろしくお願いします！



初めての写真は、かごしま水族館のチンアナゴです。先生に褒めていただいて、とても嬉しかったです。



愛用しているニコンの一眼レフカメラで、今年も金賞を目指すと話してくれた日高さん。





KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

鹿児島島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアを取り払われています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

仙巖園駅
鹿児島市吉野町



スロープが整備され、だれもが使いやすい駅に。



乗降口の頭上に設置された列車接近表示器



ホームに設置された内方線付き点状ブロック

● JR日豊線の「帖佐駅」で2023年度から進められてきたバリアフリー化工事が2025年3月25日に供用開始しました。これにより、駅を利用するすべての人にとって、より安全で快適な環境が整えられました。

これまで、駅舎と向かい側のホームを行き来するには階段を上り下りする必要があり、車いすやベビーカーの利用者にとって大きな障壁となっていました。2025年3月15日に開業

が設置されたことで、段差を気にせず移動できるようになりました。また、視覚障害のある方のホームからの転落事故を防止するための内方線付き点状ブロックや手で触って位置や方向を確認できる案内板を導入。バリアフリートイレにはオストメイト対応設備や介助用ベッドも整備され、さまざまな身体状況に対応した空間に生まれ変わりました。



帖佐駅
始良市東餅田2575



車いすやベビーカーでも段差を気にせず利用できる。



多目的トイレには、さまざまな利用者に配慮した安心の空間が整っている。

ヘルプマークの日の制定に伴い、ライトアップを実施しました！

県では、障害のある方などに対する配慮や援助につながるよう、ヘルプマークがJIS規格に登録され、全国共通のマークとなった7月20日をヘルプマークの日と定め、「赤色」のライトアップを実施しました。

マーク及びカードの配布は、お住まいの市町村のほか、県庁障害者支援室、地域振興局・支庁、ハートピアかごしまにて行っています。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。



山形屋



ソラリア西鉄ホテル鹿児島



アミムラザ鹿児島



センテラス天文館



南日本銀行



鹿児島銀行



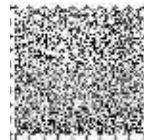
西田橋・高見橋

※写真は高見橋の様子です

【問合せ先】 県庁障害福祉課障害者支援室 電話：099-286-2746



鹿児島県からのお知らせ



10月17日・18日に農福連携マルシェが開催されます

県内の障害者就労施設等の利用者が心を込めて作った野菜やお菓子などを多数販売する「農福連携マルシェ」を令和7年10月17日・18日午前10時から午後6時まで鹿児島中央駅AMU広場で開催しますので、ぜひお越しください。

農福連携とは、障害のある人等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組のことで。

県では、一般社団法人かごしま障がい者共同受注センターに農福連携推進専門員を配置し、障害者就労施設等と農業者等のマッチングや農福連携についての相談対応を行っていますので、【問い合わせ先】へご相談ください。



【問い合わせ先】 一般社団法人かごしま障がい者共同受注センター 電話：099-206-5210 FAX：099-250-9358

11月10日～16日は「アルコール関連問題啓発週間」です

お酒は、生活に豊かさや潤いを与えるものですが、不適切な飲み方は、アルコール健康障害の原因となり、体や心にも悪影響を及ぼすことがあります。

また、飲酒運転や暴力、自殺などの社会的な問題の原因になり、家族への深刻な影響を与える恐れもあります。

この機会に、飲みすぎや未成年者、妊産婦の飲酒など、不適切な飲酒によるアルコール関連問題への関心と理解を深めましょう。

厚生労働省アルコール健康障害対策



心庵グループ

「むれがおかから心をつなぐ福祉」就労継続支援B型 むれがおか
心庵グループは鹿児島市を拠点に医療福祉分野で心をつなぐサービスを提供します。



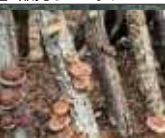
秋には壺焼き芋を販売しています



日本ミツバチ養蜂箱や蜂蜜を販売しています



原木しいたけを栽培・販売しています



是非、
Instagramも
ご覧ください。



住所：鹿児島市牟礼岡3丁目2-12
TEL：099-246-0670
FAX：099-246-0671

【関連施設】

- 住宅型有料老人ホーム
シニアハウスむれがおか
- 地域密着型通所介護
デイサービスむれがおかⅠ番館
デイサービスむれがおかⅡ番館
- 居宅介護支援事業所
サポートプランむれがおか



[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課障害者支援室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX. 099-286-5558

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

Vol.50 令和7年9月30日発行 [URL]<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/machi/index.html>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へ御連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版を鹿児島県視覚障害者情報センター（鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896）に備え付けてあります。

【ユニボイス】について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々は音声コード[Uni-Voice]です。この18ミリ四方の一つのUni-Voiceの中に、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み上げ装置やスマートフォンのアプリ等で読み取ると、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもUni-Voiceの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

鹿児島県からのお知らせ

7